# 歴史を歩こう

## 親子コース　４０分　２Km

九十九橋→里程元標→物産総会所跡→福井郵便局跡→京町・町名レリーフ→塩町・町名レリーフ→山町・町名レリーフ→莨屋旅館跡→菱川師福生誕地→花月小学校跡→三宅丞四郎生誕地→三秀園跡→福井藩十二ヶ月行事絵巻壁画→木町・町名レリーフ→風月楼跡

## 成人コース　９０分　６Km

九十九橋→里程元標→物産総会所跡→福井郵便局跡→京町名称起源碑→天台宗西山光照寺　福井大仏→東別院　真宗大谷派福井別院本瑞寺→乾尋常高等小学校跡→結城山医王寺→戦歿者の碑→橋曙覧宅（藁屋）跡→芝原用水（光明寺用水）→天保の飢饉塚・地蔵堂→明里御蔵（米蔵）跡→湊八幡神社→三秀園跡→福井藩十二ヶ月行事絵巻壁画→莨屋旅館跡→山町・町名レリーフ→塩町・町名レリーフ→木町・町名レリーフ→風月楼跡



### ３８ 福井市営競馬場跡（ふくいしえいけいばじょうあと）

福井市文京 6/7

昭和 22 年に農水省が農耕馬の改良や戦後復興を目的として 1 周 1,100m の競馬場を作ったが，昭和 23 年に福井大震災や九頭竜川の大洪水の被害を受けたり，競輪場・競艇場の施設が出来たため昭和 38 年に幕を閉じた。

写真：「境の杜」境自治会 平成７年



### ３６ 境橋（さかいばし）

福井市日光 1/2～文京 6

当初堺村だったが，「越前地理指南」に境村と記述されていると共に，そのなかの絵図（貞享 2 年(1685)）に石橋 5 間と記載されている。



### ３１ 天保の飢饉塚・地蔵堂（てんぽうのききんづか・じぞうどう）

福井市光陽 1-9-30

天保 14 年(1843)建立される。飢饉と疫病が流行し，多くの人達が死んだ。越前領内では餓死者 6 万人を超えたと言われており，無縁の者をこの石仏の下に埋葬し供養している。



### ３５ 底喰川（そこばみがわ）

福井市日光 1～文京 7

湊地区を流れた光明寺用水が流れ込む底喰川はごえんど川とも呼ばれ，三ツ屋町の日野川にそそがれる。



### ２５ 織物検査場跡（おりものけんさじょうあと）

福井市花月 3-2-6

名称（財)絹人絹織物検査協会福井検査場。検査員は 120 名程いて，機屋から持ち込まれた織物を生機(きばた)検査した。(輸出用）通産省指導による生機検査が中止となり，昭和 50 年ごろ西開発町に移る。（現在の宮下宅敷地部分である。）



### １８ 乾尋常高等小学校跡（いぬいじんじょうこうとうしょうがっこうあと）

福井市花月 1-3

昭和 2 年開校し，花月，春山，福井高等小学校からの転校児童で編成された。途中いろいろ改校したが，昭和 21 年湊小学校が設立され乾学校は廃校となる。校地はその後西公園として残された。



### ３７ 光明寺用水（芝原用水）（こうみょうじようすい（しばはらようすい））

福井市照手 4～光陽 3

結城秀康が入国し，九頭龍川からの水脈を引水した芝原用水は外輪と内輪の両用水に分けられる。内輪用水の分流である光明寺用水は，城下の飲用水として用いられたが，このあと底喰川に流れ込む。



### ３４ 明里焼却場跡（あかりしょうきゃくじょうあと）

福井市光陽 1-8

明治 33 年焼却罐(がま)1 基建設。明治 35 年 1 基増設される。昭和 36 年南江守清掃センター設置まで 61 年間環境美化のため役立った。

写真：「わたしたちの湊」湊公民館 30 周年記念誌編集委員会 平成 3 年



### ２１ 福井藩十二ヶ月行事絵巻壁画（ふくいはん 12 かげつぎょうじえまきへきが）

福井市照手 2/3

江戸時代元禄(1688-1703)の頃，福井城下の月ごとの代表的行事風物を描いたもので，福井藩居合の師範家高畠夢蝶の筆と推測される。

**【湊公民館発足の地】**
昭和 25 年 1 月西部会館内に福井市出張所西部分館併設
**昭和 35 年 4 月福井出張所を湊公民館に改称**

**昭和 55 年 4 月現在地に移転**

光タクシーの角をまがります！

**昭和 41 年 8 月三秀プール会館に湊公民館を移転**

## ０１ 九十九橋（掛合橋）　「湊地区歴史まっぷ」表紙参照

### ０２ 里程元標（りていげんぴょう）

福井市照手 1-1

戦国時代以前から交通の要所であるこの地にあり，越前各所への里程が刻まれている。なお石材となったのは柴田勝家以降である。

### ０３ 物産総会所跡（ぶっさんそうかいしょあと）

福井市照手 1-1-1

横井小楠・三岡八郎の指導によって殖産興業の拠点となった。
（現在の照手郵便局付近である。）

### ０４ 福井郵便局跡（ふくいゆうびんきょくあと）

福井市照手 1-1-1

明治 37 年九十九橋の北詰の繁華街に落成した。当時は二等郵便局であったが，大正 2 年に一等に昇格する。

写真：「わがまち福井」福井市・福井市教育委員会　平成２年

### ０５ 京町・町名レリーフ（きょうまち・ちょうめいれりーふ）

福井市照手 1-2

京商品を扱う店が多くあり名付けられた。京都の町並みを偲ばせる繁華街として最も賑わった地域であった。

## ０６ 天台宗西山光照寺　福井大仏「湊地区歴史まっぷ」表紙参照

### ０７ 東別院　真宗大谷派福井別院本瑞寺（ひがしべついん　しんしゅうおおたにはふくいべついんほんずいじ）

福井市花月 1-2-36

名称 福井別院本瑞寺，本寺 京都市真宗本廟（ほんびょう）東本願寺，本尊 阿弥陀如来，慶長 6 年(1601)結城秀康建立，明治 9 年真宗大谷派福井別院となる。通常東別院といわれている。

### ０８ 山県三郎兵衛下屋敷跡（やまがたさぶろべいしもやしきあと）（2600 石）

福井市花月 1-3

福井藩の家老（高知席）の別邸である。
（現在の西公園付近が該当する。）

### ０９ 風月楼跡（ふうげつろうあと）

福井市照手 1-1-3

元禄年間(1688-1703)のころ料亭風月楼となる。横井小楠，坂本龍馬，橋曙覧なども利用したと伝わっている。
（現在小野グループゲストハウスが建てられている。）

### １０ 木町・町名レリーフ（きまち・ちょうめいれりーふ）

福井市照手 1-1-13

木町河戸より木材を搬入，材木問屋が集まる町であった。明治 5 年頃材木問屋は 4 軒あった。

### １１ 塩町・町名レリーフ（しおちょう・ちょうめいれりーふ）

福井市照手 1-5-5

塩問屋，塩小売人の町で，秀康入国以前から営んでいた。明治 5 年頃塩屋 5 軒，醤油醸造業が 3 軒あった。

### １２ 山町・町名レリーフ（やまちょう・ちょうめいれりーふ）

福井市照手 1-14-3

一乗谷の山の手に住んでいた者が，朝倉氏滅後北の庄城下に移転して来たため町名を山町と名付けた。この地には定宿「莨屋」があった。

### １３ 莨屋旅館跡（たばこやりょかんあと）

福井市照手 1-14-3

慶応 3 年(1867)11 月，坂本龍馬と三岡八郎が日本の将来について語り合った場所である。

### １４ 菱川師福生誕地（ひしかわもろよしせいたんち）

福井市照手 1-12-5

福井の師宣(もろのぶ)と賞賛，絵は早瀬来山に書は橘曙覧に学ぶ。明治 12 年画号菱川師福と名付けられる。代表作「馬威し図屏風(うまおどしずびょうぶ)」がある。(現在の長運寺辺りである。)

### １５ 高橋記内の墓（西厳寺）（たかはしきないのはか（さいがんじ））

福井市照手 1-10- 22

福井藩お抱えの鐔師(つばし)で，動物の鐔を造ることに優れていた。記内作の鐔は県立美術館にも所蔵されている。

### １６ 結城山　医王寺（ゆうきさん　いおうじ）

福井市花月 1-9-13

慶長 6 年(1601)結城秀康が 400 坪の敷地と共に寄進し，秀康公の菩提寺となる。医王寺と名付けたのは「医者は病人を救う，仏は人を救う」と言う意味。昭和 60 年頃住職のいない寺となる。

### １７ 戦歿者の碑（せんぼつしゃのひ）（西部神明神社境内）

福井市花月 1-9

帝国在郷軍人会花月分会戦没者（日露 14 名，上海 2 名，支那 43 名）の名前が刻まれている。

## １８ 乾尋常高等小学校跡　「湊地区歴史まっぷ」参照

### １９ 三ッ橋・法興寺跡（みつはし・ほうこうじあと）

福井市照手 2-3

柴田勝家が一乗谷三つ橋より移した。その後戦災などで焼失し，現在地足羽 3 丁目に移し現在に及んでいる。(現在の照手公園一帯である。)

### ２０ 花月小学校跡（かげつしょうがっこうあと）

福井市照手 2-4

明治 29 年～昭和 14 年。当初の敷地は約 300 坪を有し，授業料は月 4 銭であった。

## ２１ 福井藩十二ヶ月行事絵巻壁画　「湊地区歴史まっぷ」参照

### ２２ 三秀園跡（さんしゅうえんあと）

福井市照手 3-1-1

福井藩家老 3000 石松平主馬(しゅめ)の別邸。明治 29 年福井市は公園地として買収し，昭和 24 年南側の一角に三秀プールを設置した。

「福井学」推進事業

福井市湊公民館創立５０周年記念事業　湊地区歴史まっぷ作成委員会
福井　学園

## 【一　区】

### ０１ 九十九橋（掛合橋）（つくもばし（かけあいばし））

福井市照手 1

幕末まで足羽川に架かっていた唯一の橋で，柴田勝家によって，半木半石の珍しい橋に架けかえられた。

## 【二　区】

### ３３ 明里米蔵（御蔵）跡（あかりこめぐら（おくら）あと）

福井市光陽 1-25-29

慶安 2 年(1849)から明治 5 年迄，足羽郡下をはじめ，金津，鯖江から舟や馬で年貢米が運ばれた。敷地 3000 坪に米蔵が 34 棟あり，6 万俵が収納された。米は足羽川で三国まで下り大阪の米市場で売却した。

## 【三　区】

### ０６ 天台宗西山光照寺　福井大仏（てんだいしゅうにしやまこうしょうじ　ふくいだいぶつ）

福井市花月 1-1-26

昔は一乗谷にあって朝倉一族の厚い加護を受けていた。慶長 11 年(1606)結城秀康が一乗谷より移し寺社奉行直轄寺院となる。今は福井大仏として親しまれている。

## 【四　区】

### ３２ 境・白山神社（さかい・はくさんじんじゃ）

福井市日光 1-10

慶長 11 年（1606）頃に堺村の鎮守の杜として現在地に白山神社を鎮座した。境内には樹齢約 500 年の欅(けやき)がある。

### ２３ 三宅丞四郎生誕地（みやけじょうしろうせいたんち）

福井市照手 3-4-1

絹織物の開拓者といわれた幕末からの機業家で，織機開発から生産・販売まで一貫経営を行った。

### ２４ 橘曙覧宅（藁屋）跡（たちばなあけみたく（わらや）あと）

福井市照手 2-5-13

橘曙覧 37 歳(1848)の時足羽山黄金舎(こがねのや)から転居した。その後 43 歳で曙覧と改名し，この地で没迄 20 年間暮らした。

## ２５ 織物検査場跡　「湊地区歴史まっぷ」参照

### ２６ 湊八幡神社（みなとはちまんじんじゃ）

福井市照手 4-1

文明 3 年(1471)朝倉敏景が寄進する。明治 4 年より現在地となる。氏子戸数約 360 戸で例祭が 4 月 15 日に行われる。

### ２７ 杉田壱岐下屋敷跡（すぎたいきしもやしきあと）（1300 石）

福井市照手 3-3-8/9

福井藩の家老（高知席）の別邸である。
（現在の湊建設～竹原宅一帯が該当する。）

### ２８ 光明寺用水（芝原用水）（こうみょうじようすい（しばはらようすい））

福井市照手 1/2/3

結城秀康が入国し，松岡の芝原郷から九頭竜川の水脈を上水道として城下に引水したことから名付けられた芝原用水の分流であるこの用水は飲用水としても重要で上水奉行が管理していた。

### ２９ 本多飛騨下屋敷跡（ほんだひだしもやしきあと）（2800 石）

福井市照手 4-3/8/9

福井藩の家老（高知席）の別邸である。
（現在の恵光寺～東村宅一帯が該当する。）

### ３０ 稲葉采女下屋敷跡（いなばうねめしもやしきあと）（2175 石）

福井市照手 4-4/7

福井藩の家老（高知席）の別邸である。
（現在の湊公園～山崎宅一帯が該当する）

## ３１ 天保の飢饉塚・地蔵堂　「湊地区歴史まっぷ」参照

## ３２ 境・白山神社　「湊地区歴史まっぷ」表紙参照

## ３３ 明里御蔵（米蔵）跡　「湊地区歴史まっぷ」表紙参照

## ３４ 明里焼却場跡　「湊地区歴史まっぷ」参照

## ３５ 底喰川　「湊地区歴史まっぷ」参照

## ３６ 境橋　「湊地区歴史まっぷ」参照

## ３７ 光明寺用水（芝原用水）　「湊地区歴史まっぷ」参照

## ３８ 福井市営競馬場跡　「湊地区歴史まっぷ」参照